

読みたい聴きたい

福岡市内の書店『ブックスキューブリック』のオーナー・大井実さんに、毎回テーマに沿った本と音楽を紹介していただきます。ジャンルを超えて楽しめる作品にぜひ、触れてみてください。

撮影/スタジオパッション

ココロに、 ウツクシク

(一瞬で印象が変わる作品)

この本には、作品を見る感性や視点を変わってくれそうな力があります。

私が好きな文筆家のひとりに、大竹昭子さんという方がいます。小説、エッセイ、ルポルタージュなど、どんな文章にも独自の鋭い感性で、大竹ワールドへとぐいぐい引き込む強烈な個性を持つ彼女が、またまた面白い一冊を執筆しました。

『この写真がすごい2008』というタイトルからもわかるように、この本は、彼女自身が「すごい!」と思った写真100点を、雑誌やインターネットなどのあらゆる媒体から選んだもの。私たちの日常を切り取ったショットや、人や自然界の決定的瞬間

間をとらえた一枚、息を呑むほど美しい風景写真など、被写体もジャンルも撮影者もバラバラな写真のインパクトはもちろん、面白いのは、写真の横に添えられている彼女のコメントです。

劇的な瞬間が撮られるまでの経緯を想像しユーモアたっぷりに書かれていたり、写真の中の小さな事実を見抜き膝を打つような発見を与えてくれたりと、そのコメントを読む前後では写真の印象が全く変わってしまいます。たとえば大きな波がほとばしる豪快なショットには、「北斎が見たら

興奮しそうだな」と書き出され、赤ちゃんが目をつぶって気持ちよさそうに入浴している一枚には、「おいしいものを食べているときも、もちろんキスの瞬間もそう。視界を遮断したほうがより深く味わえることを、赤ん坊のときから知っている」といったふう

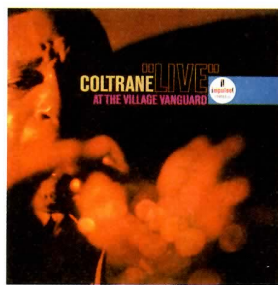
に。この写真集は「見る」だけでなく「想像する」楽しさを教えてくれる一冊だと思えます。

「一瞬で印象が変わる作品」として音楽で思い浮かぶのは、ジャズの巨匠ジョン・コルトレーンのライブ盤です。実はこのアルバムを買った当初、そ

んなに強烈に興味を引かれなかったのですが、私の中で印象が変わるきっかけとなったのが「SOFTLY, AS IN A MORNING SUNRISE」(朝日の如くさわやかに)という一曲。この曲を演奏しているコルトレーンが徐々に乗り始め、気持ちピークに達した時、サックスの音がまるで声が裏返ったような、なんとも言えない音を奏でる瞬間があります。これに気づいた時から、コルトレーンがライブで感じている気持ちよさや会場の熱気が全身いっばいに伝わってきて、何度も聴く一枚になりました。



『この写真がすごい2008』
大竹昭子
朝日出版社
1,995円(税込)



『ライブ・アット・ザ・ヴィレッジ・ヴァンガード』
ジョン・コルトレーン
発売元/ユニバーサル クラシックス&ジャズ
1,995円(税込)
UCCU-5072

■ 大井実さん
話題の一冊から普遍的な作品を揃える福岡市内の書店「ブックスキューブリック」のオーナー。
◎今回ご紹介した本の編著者・大竹さんの講演会が行われます。詳しくは、<http://www.bookuoka.com/>
ブックスキューブリック
福岡市中央区赤坂2-1-12 ネオグランデ赤坂1階
☎092-711-1180 <http://www.bookskubrick.jp>

